

《学校教育目標》

「豊かな心を持ち 自ら考え たくましく生きる子の育成」

今年の冬は厳しい寒さが続きましたが、春が駆け足でやってきました。桜の花びらが舞う中、始業式・入学式を行い、平成30年度がスタートしました。お子様の入学・進級おめでとうございます。

岩本知恵子校長の後任として、4月の異動で上大井小学校より着任しました中山 喜幸(なかやま よしゆき)です。子どもたちの「豊かな心を持ち、自ら考え、たくましく生きる力」の育成のため、全職員が一丸となって力を尽くしていきます。どうか、よろしくお願ひします。

笑顔満開の登校風景 ～相和小学校の一日のはじまり～

早めに登校してきた5・6年生が校門に立ち、あとから来る相和っ子を毎日迎えています。到着した順に加わり、迎える子どもは増えていきます。

相和小の「あいさつ」は、他校とはちょっと違います。手のひらを相手に向けて「おはようございます」と言います。相手はその手のひらにタッチして「おはようございます」と、笑顔であいさつをかえます。

ある日、黄色のカバーのついたランドセルを背負った女の子が、お母さんと手をつないで登校してきたときの事です。女の子は、お母さんをつないでいた手を離し、迎える子どもたちの手のひらに、笑顔でタッチして行きました。そしてすぐにくるっとお母さんの方にむき直し、ニコニコしながら手のひらを向けました。お母さんは、一瞬戸惑いましたが、すぐにその小さな手に自分の手を合わせ、「いってらっしゃい」と笑顔で送り出しました。

人を送るときには、たいていは手を振って「いってらっしゃい」と言うことが多いと思います。きっと幼稚園のときも、そうであったと思います。ですから、我が子に手のひらをむけられたときに、一瞬の戸惑いがあったのもうなずけます。

このタッチとともに交わすあいさつの風景には、みんなが笑顔になります。校門まで付き添ってくれたボランティアの方々も笑顔になります。そのボランティアの方々に、「ありがとうございました。」と、爽やかにお礼を言う6年生もいます。このようにして、相和小学校の一日が始まります。



学校長のことば～4月5日始業式～(抜粋)

「たった一言が人の心を傷つける
たった一言が人の心をあたためる」
相和小学校を「心をあたためる言葉」でいっぱいにしてよう。

人の心が傷ついたら、どうなるでしょう？ 辛くなります。元気がでません。泣きたくなくなります。やる気がでません。こうしたことは、けしてあってはいけません。逆に、心があたたかくなったらどんな気分でしょう？うれしくなります。元気がでます。やる気が出てきます。「たった一言」その一言が、人の心を傷つけたり、あたためたりするということです。

相和小学校を「人の心をあたためることば」でいっぱいにしましょう。そうすれば、みんなが楽しくなります。みんながやる気をだして、みんなで成長できます。そんな学校にしましょう。

平成30年度の職員を紹介

今年度も相和っ子の笑顔があふれ、きらきら輝く姿がさまざまな場面で見られるように、職員が一丸となり、全力で指導にあたります。どうぞよろしくお願いたします。

1 年	小泉 香菜恵 (こいずみ かなえ)	校長	中山 喜幸 (なかやま よしゆき)
2 年	杉山 泉喜 (すぎやま みずき)	教頭	山田 尚徳 (やまだ ひさのり)
3 年	飯嶋 正志 (いいじま まさし)	教務	酒井 正代 (さかい まさよ)
4 年	藤田 美輝 (ふじた みき)	養護教諭	柳川 優里香 (やながわ ゆりか)
5 年	荻野 義信 (おぎの よしのぶ)	事務主事	大橋 雅 (おおはし みやび)
6 年	萩原 智美 (はぎわら ともみ)	用務員	橋本 恵理子 (はしもと えりこ)
非常勤	山本 貴栄 (やまもと きえ)	非常勤	平山 ひとみ (ひらやま ひとみ)
非常勤	瀬谷 由美子 (せや ゆみこ)	非常勤	遠藤 泉 (えんどう いずみ)
(産休	野地 尚子)		

人事異動のお知らせ

人事異動による教職員の転出入がありましたので、お知らせします。

転退職職員

岩本 知恵子 校長
(退職・そうわ会館館長)

齋藤 傑 教諭 (上大井小学校へ)

西山 郁留 教諭 (退職)

転入職員

中山 喜幸 校長 (上大井小から)

杉山 泉喜 教諭 (新採用)

育児休業から復業

小泉 香菜恵

